

ようこそ大館へ

そして

またのおこしを

市の玄関4カ所に歓迎塔完成

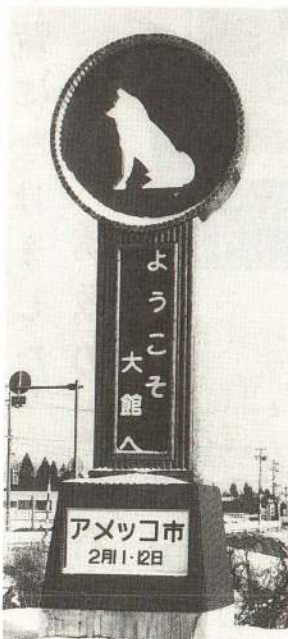
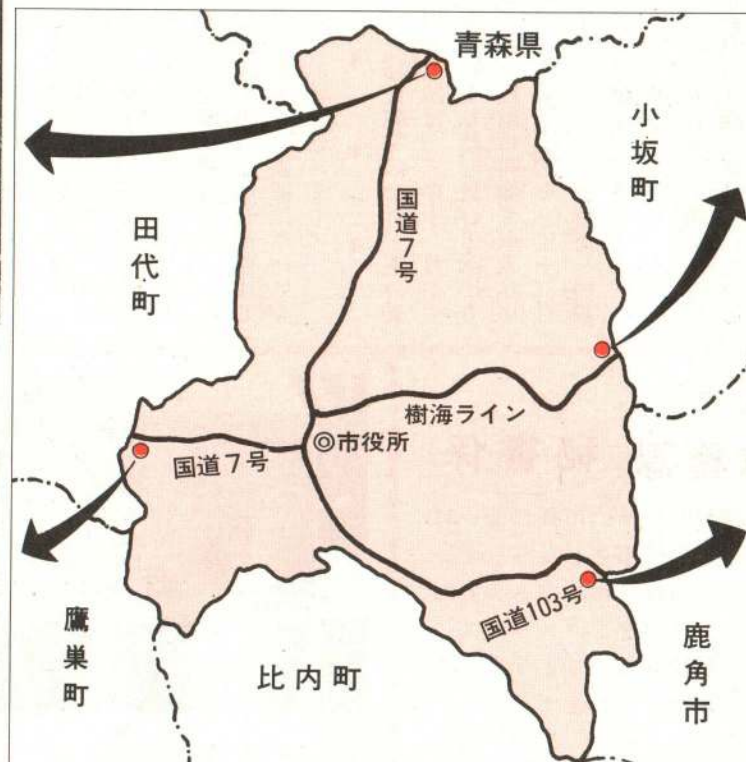
市では、観光客の旅心を深い感動で満たし、大館をPRする目的で、平成元年度から歓迎塔設置事業をスタートさせました。元年度は国道7号沿いの青森県境付近に、2年度は国道7号沿いの田代町境付近と樹海ライン沿いの小坂町境付近に、最終年度の今年度は国道103号沿いの鹿角市境付近にそれぞれ設置しました。歓迎塔はすべて大館をイメージしたもので、市の特産である秋田杉をふんだんに使用しています。



完成・平成元年10月
設計者・日景範行さん

(釈迦内字相染台)
特徴・秋田犬が秋田杉の切り株に腰をかけ、たんぽを持っているというたいへんユニークなデザイン。高さ10メートル。

完成・平成3年1月
設計者・三浦英人さん
特徴・杉丸太を縦に組み合わせ、わせた台座に、いろりを乗せ、串についたたんぽを焼いている様子をデザインしたもの。高さ8・9メートル。
(有浦4丁目)



完成・平成3年1月
設計者・加藤寿志さん

(字中城)
特徴・杉丸太を縦に組み合わせ、わせた支柱の上に、秋田犬を透かし彫りにした曲げわっぱを乗せたデザイン。高さ8・9メートル。

完成・平成4年1月
設計者・遠藤幸子さん
特徴・杉丸太を組み合わせ、てお杉わらべをかたちどり、側面にたんぽや秋田犬などの絵がはめ込まれています。高さ9・3メートル。
(東台5丁目)

